

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～  
(Ref No : 19-015)

1 第24回ミクロネシア島嶼国フォーラムがミクロネシアのチューク州で開催（パラオ、ミクロネシア（4州+連邦政府それぞれが参加）、マーシャル諸島、北マリアナ諸島自治連邦区、グアムが参加。次回以降のキリバス・ナウルの参加を歓迎する声明が発表）

[原文](#)

(22 July 2019, Kaselehlie Press)

2 「マーシャル諸島は、世界最大の水産市場である EU へのマグロ輸出促進のため、EU への輸出要件を確認するための「管轄当局」の設置を進める」と同国海洋資源当局（MIMRA）高官が発言（あわせて、これまでのようにナウル協定に基づき「Fishing days」を売ることによって利益を上げるのではなく、マグロの漁獲から加工までの関連産業全体に参加して利益を得るための試験的な取り組みを進める）

[原文](#)

(22 July 2019, Radio NZ)

3 「最近の国連による評価で、バランスの変化、生物多様性及び漁業資源の減少により、悪化していると結論付けられている海洋の状態を回復させるためには、今後10年間で重要であり、科学的知見に基づく行動計画を発展させる」とニューカレドニアで開催中の国連の協議（世界的な規模で実施される第一ラウンド）で、SPC（太平洋共同体）高官が発言

[原文](#)

(23 July 2019, Radio NZ)

4 「中国がカンボジアの海軍基地に軍隊を駐屯させる合意に達したという報告を受け、オーストラリアは、本年中に、太平洋島嶼国（パプアニューギニア、フィジー、バヌアツ）に陸軍の部隊（Pacific Support Force）を派遣し、治安維持活動、人道支援、災害支援及び平和維持における能力向上等を図る」と同国国防相が発言

[原文](#)

(23 July 2019, 7News.com)

5 パラオは、（2030年までの持続可能な開発目標（SDGs）の前身となる）8個のミレニアム開発目標（MDGs：（極度の貧困と飢餓の撲滅、普遍的初等教

育の達成、環境の持続可能性の確保等)のうち、7個を達成したことを同国教育大臣が、Voluntary National Review (SDGsの進捗状況に関する自主的報告を行う国家主導の定期的レビュー)会合で報告

[原文](#)

(23 July 2019, Island Times)

※Island Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。

その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試してください。

6 ミクロネシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島による、国連海洋法条約に関する大陸棚(太平洋のソロモン諸島の北にある巨大なオントンジャワ海台)の延長申請に関して、申請後、10年を経て、国連大陸棚限界委員会(CLCS)にて承認される

[原文](#)

(23 July 2019, PACNEWS)

7 「(大型の調査船を使用した海洋調査には巨額の費用がかかるため、代わりに)マグロきんちゃく網漁業者が太平洋の海洋生物に関する調査を行うことも検討してはどうか」と環境NGO(Conservation International)職員が発言

[原文](#)

(24 July 2019, PACNEWS)

【太平洋諸島フォーラム(PIF)外相会議】

8 ニュージーランドの副首相兼外相が、フィジーで開催された太平洋諸島フォーラム(PIF)外相会議に出席

[原文](#)

(24 July 2019, FijiSun)

9 8月13~16日に開催される太平洋諸島フォーラム(首脳会合)の前に、フィジーで経済担当大臣会合、外務大臣会合が開催

[原文](#)

(26 July 2019, PACNEWS)